

令和7年度 北海道檜山北高等学校 学校評価(学校関係者)集計結果

- 1 自己評価(教職員)「取組の適切さ(達成状況結果より)」の評価基準: A(4): 4~3.5 B(3): 3.4~2.5 C(2): 2.4~1.5 D(1): 1.4~1
- 2 学校関係者評価「自己評価の適切さ」の評価基準:
 A: 適切な評価である B: ほぼ適切な評価である C: やや不適切な評価である D: 不適切な評価である
- 3 学校関係者評価「改善の方策」の評価基準:
 A: 十分な効果が期待できる B: ほぼ十分な効果が期待できる C: あまり効果が期待できない D: 効果が期待できず改善を要する

※各項目の取組内容については別紙1を参照願います。			R7自己評価(教職員)			学校関係者評価(「自己評価の適切さ」と「改善の方策」の評価A~Dを記入)		
			達成状況 (昨年度)	取組 適切さ	②改善の方策	自己評価の 適切さ	改善の 方策	意見等がありましたらご記入をお願いいたします。
教育活動全般	(1)	保護者、地域との協力・連携を深め、開かれた学校づくりに努めていますか。	2.9 (3.1)	B	PTAが参加したくなる楽しい内容にする。部活動において小学校・中学校と積極的な連携を図る。	B	B	
	(2)	地域・学校及び生徒の実態等をふまえた教育課程を適切に編成していますか。	2.9 (2.9)	B	生徒の多様な進路への対応を踏まえ、教科編成、内容構の理解を深め、教科横断的な教科・探究の時間を充実させる。	B	B	
学習活動	(1)	指導目標達成に向け、生徒が学習意欲を高めるための授業改善が図られていますか。	2.9 (2.7)	B	これまで以上に授業準備に時間をかけ、お互いに授業を見合いながら、振り返りの機会を多く作り、授業改善を向上する環境を作る。	B	B	
生徒指導	(1)	生徒のマナー・挨拶などの基本的な生活習慣は身に付いていますか。	2.7 (2.7)	B	適切な挨拶、自発的な挨拶ができるよう目的をしっかりと意識させる。教師が模範となり、より愛される生徒の育成を図る。	B	B	
	(2)	生徒事故(いじめを含む)などの対応、指導は適切に行われていますか。	3.2 (3.1)	B	人権を尊重した安心安全な学校生活を送れるように、きめ細やかで、心に響く指導を推進する。	B	A	
健康安全教育	(1)	健康や安全に関する指導や啓発は十分に行われていますか。	3.4 (3.3)	B	援助希求的な態度の育成の徹底。危機管理意識の向上に努め、自ら健康や安全をコントロールすることができる資質・能力の育成を図る。	B	B	
	(2)	緊急時に対処するための防災体制や危機管理システムについて理解が図られていますか。	3.0 (3.0)	B	危機管理マニュアルの見直し。避難訓練の工夫・改善。学校の外部機関や人材の活用により効果的な指導を推進する。	B	B	
特別支援教育	(1)	支援を必要とする生徒への対応は適切に行われていますか。	3.0 (2.9)	B	特別支援委員会の内容充実と外部機関との連携をより一層図る。校内研修の充実を推進する。	B	B	
キャリア教育 進路指導	(1)	「キャリア教育で育成を目指す5つの資質・能力」は教職員間で、共通理解が図られ実践されていますか。	3.0 (3.0)	B	前年度の取組を評価反省し、より具体的なことを可視化し、本校での中心となるべきものが何なのかを共有する。	B	B	
	(2)	生徒の進路達成のために、様々な支援や適切な指導が行われていますか。	3.2 (3.1)	B	進学意識、講習の受講や模試の受験への意識をより明確にし、向上させる。就学支援金や奨学金についての知識を持たせる。	A	B	
保護者・地域との 連携	(1)	八穂の星やホームページ等により、外部に対し本校の教育活動を発信できていますか。	2.4 (3.2)	C	教育活動の様子を適時的にホームページで発信する。八穂の星(学校通信)を効果的に発信する。中学校説明会で生徒保護者に加え、中学校教員も対象とし、本校の理解を深める。	B	B	
	(2)	地域の教育力(人材・施設・設備など)を活かした教育活動を行っていますか。	3.0 (2.8)	B	地域の教育力をさまざまな場面で活用し、探究活動での教育活動の充実を図る。	B	B	